

「K I A Cワークショップ・シリーズ 2019」を開催 ～「福祉」×「ダンス」の可能性～

舞台芸術やアートをより身近に感じてもらうため、平成 28 年度から実施している城崎国際アートセンター主催の参加型プログラム「K I A Cワークショップ・シリーズ」を市内の特別養護老人ホームで開催する。ダンスを通して「福祉」を考え体験する。施設入居者や施設職員のほか、一般の参加者も参加できる。

1 名称

K I A Cワークショップ・シリーズ 2019～「福祉」×「ダンス」の可能性～

2 ワークショップの概要

(1) 内容・特色

ア 講師は、路上生活経験者とパフォーマンスを創作しているダンスグループ「新人Hソケリッサ!」を主宰するダンサー/振付家のアオキ裕キさん。音楽家(ピアニスト)の歌島昌智さん、ダンス・ファシリテーターの千代その子さん(アシスタント)の計3人。
イ 実際の介護現場を会場に、ダンスを通して高齢者の身体性とその可能性について考える。

【第1部】 施設入居者、一般参加者合同によるダンスワークショップ

【第2部】 第1部を振り返り、講師、ワークショップ参加者、施設職員を交えて、福祉とダンスの可能性について意見交換をする。

《アオキ裕キさんメッセージ》

様々なことを経験し感じてきた身体の深み、その身体から生まれる表現や創造は、次の世代への贈り物です。しかし便利で守られた環境におかれた私たちの身体は、社会と繋がる感覚(五感)を衰えさせ、感動や生きる喜び、心身の躍動を奪ってしまっているのではないのでしょうか。そのような感覚は、歳を重ねても豊かで有り続けることができるはず。日常になれた身体を揺さぶる芸術的アプローチと生演奏により、身体が持つ記憶とその豊かさの「かたち」や「動き」の創出を目指します。このワークショップが高齢化社会への新たな可能性となる事を願って。



イメージ写真:アオキ裕キ 高齢者対象ワークショップ

(2) 場所

特別養護老人ホーム たじま荘（日高町十戸 455）

(3) 日時

平成 31 年 1 月 26 日（土） 【第 1 部】 午後 1 時 30 分～3 時

【第 2 部】 午後 3 時 15 分～4 時 15 分

(4) 対象

「高齢者×ダンス」に関心のある方（経験不問）

(5) 定員

15 人程度

(6) 参加費

無料

3 申込み

城崎国際アートセンターへ電話、メール、ファクスのいずれかで申し込む

※ 「第 1 部」か「第 2 部」のみの参加は不可

※ 定員に達し次第締切

※ メールの場合は、件名を「K I A C ワークショップ・シリーズ申込」とし、本文に①
名前、②年代、③電話番号を明記。返信メールをもって受付完了とする。送信後 3 日
経っても返信がない場合は問合せる。

〔申込先〕 城崎国際アートセンター

TEL 0796-32-3888（受付 9:00～17:00 火曜休館）

FAX 0796-32-3898

e-mail info@kiac.jp

4 主催等

(1) 主催

城崎国際アートセンター(豊岡市)

(2) 共催

一般社団法人ダンストーク

(3) 協力

特別養護老人ホームたじま荘

《参考》

講師プロフィール

1 アオキ裕キ (Yuki Aoki)

ダンサー／振付家。兵庫県出身。1987年より東京にて平田あけみ氏よりジャズダンスを教わる。テーマパークダンサー、タレントのバックダンサー業などを経て2001年NY留学時にテロと遭遇。帰国後、自身の根底を追求。2005年ビッグイシューの協力とともに路上生活経験者を集め、ダンスグループ「新人Hソケリッサ!」を開始。2004年NEXTREAM21 最優秀賞受賞、ユニカミノルタソーシャルデザインアワード 2016 グランプリ受賞。

2 歌島昌智 (Masatoshi Utashima)

ピアニスト、作曲家、民族楽器奏者。見えざるもの聴こえざるものに心を寄せて、ジャズをはじめ、様々なスタイルでのピアノ演奏と、太鼓、琴、世界各地の笛などを用いた即興演奏の両軸で活動。出雲在住。

3 千代その子 (Sonoko Chishiro)

ダンス・ファシリテーター。滋賀県出身。3歳からバレエを始める。2004年に渡英、Rambert School of Ballet and Contemporary Dance 卒業後はシチリア島のダンスカンパニーに所属。帰国後、バレエ講師兼フリーダンサーとして活動。2018年3月、豊岡市にて一般社団法人ダンストークを設立。

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016

事業内容については

城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888